

令和4年7月5日

通年・広域観光推進特別委員会委員長様

通年・広域観光推進特別委員会委員 丸山章

資料等の提出について

通年・広域観光推進特別委員会の目的は、通年・広域観光を推進するうえでの課題を調査研究し、政策提言を行うこととしています。しかし、課題はすでに浮き彫りになっており、それを調査研究することは大切と思いますが、本市観光の発展・振興を推進して行くうえで最も大切なのは、具体的な政策提言ができるか否かにかかっていると考えます。

については、下記のとおり、通年観光に導くための具体策を提案します。特徴ある観光開発を行うことで、広域観光の課題も自ずと解消されていくものと考えます。

通年観光

日本・世界 初！！

黄金の都市づくり
= 市全域 =

「日本桜庭園 上越」構想

高田公園の付加価値を高める

＝コンセプト＝

- ①市民の手づくりによる観光の核（土台）となる「日本桜庭園 上越」をつくり新たな観光資源を世界に通用するレベルまで磨き上げる。
- ②魅力を高め、県内外及びインバウンド(外国人) 客等呼び込み、市内経済の活性化並びに移住定住者等の増加をめざす。

高田平野は、関川とその支流からなる複合扇状地となっている。この地形や山(妙高連峰、関田山脈、名峰「米山」)、海など、自然が創り出してくれた特徴ある素晴らしいロケーションを当市の木「桜」という観光資源により際立たせる。そのう

え、春日山城跡、雁木の街並み、寺院群などの豊富な観光資源を複合的に絡み合わせ、それぞれの持ち味を高めて行く。そして、10年～20年後を見つめながら当市そのものを桜庭園化し、世界に誇れる「黄金の都市」づくりをめざす。

市民の手づくりによる観光資源の創出は、究極のまちづくり、地域づくりにつながるもので、まちづくりの原点である。日本・世界でこうした試みはないと思われるので特徴づけられ、その波及効果は大変大きく、話題性、注目度も加速すると考える。

＜「日本桜庭園 上越」の姿＞

- ・高田公園の桜(ソメイヨシノ)に特化して、挿し木、接ぎ木、種により苗木を増やす。それを各戸(世帯)、事業所、団体等が低額(1本500円程度)で購入し大切に育てていただく。植える場所がない場合は、鉢植えで参加していただく。
- ・各区で協議のうえ、植栽可能地に桜を植えていただく。
- ・植栽面積、本数ともに、日本・世界に類を見ない規模に！！ まず10万本目標
- ・並行して、他の観光資源の魅力を向上させ、ストーリーを仕立てていく。
- ・観光の軸となる「しっかりした幹」に、しなやかな枝(様々な観光資源)を配し話題性、関心度、注目度抜群の観光都市をめざす。

＜期待される効果＞

- ・「日本桜庭園 上越」の呼称が計画等に反映され、市民の認識が深まり意識統一が図られる。
- ・市民の方々の更なる自信と向上心の高まり。
- ・愛着や誇りを抱ける地域づくり
- ・当市の知名度、ポテンシャルが向上。
- ・外国人客の誘客やリピーター増につながる。
- ・他の観光資源や移住定住者対策、市内経済等への波及効果が望める
- ・多種多様なジャンルでのブランドづくりにつながる事が期待できる
- ・上越市のネームバリューを高めることにより、上越市の認知度が上がり、各部署の様々な施策で効果が期待できるほか、

＜管理＞

- ・市民、各区(地域)、事業所、団体等が行う。
- ・病気・土壌調査、苗の育て方(方法)等の協力機関を立ち上げる。

＜将来的に＞

○40年から50年後、世界遺産登録を見据える。

∞ 世界遺産を証明する10項目の登録基準 ∞

誰が見ても同じように素晴らしいと感じる価値である「顕著な普遍的価値」を有している世界遺産、これを証明するものとして「10 項目の登録基準」が定められている。世界遺産に登録されるには、最低でもこの基準の1つ以上にあてはまることが条件となる。

登録基準①:「人間がつくった傑作」

人間が作り上げた素晴らしい傑作である遺産に認められる。

登録基準②:「自然の景観美」

美しい自然景観や独特な自然現象が見られる遺産に認められる。

<その他>

【管理費用】

- ・市の負担金並びに市民、地元企業等より寄附を募る。
- ・クラウドファンディングによる資金調達。

<参考例 >

【吉野山の桜 維持管理等の費用】（奈良県吉野郡吉野町吉野山）

○令和 2. 8. 19 公益財団法人 吉野山保勝会(0746-32-1007)前田氏に電話で聞き取り調査したもの。

- ・吉野山の桜植栽面積:50ha
- ・シロヤマザクラを中心に約 3 万本
- ・消毒作業はほとんど行っていない
- ・日常管理は 3 人をお願いし、斜面の下草狩りや苗を育てている。
- ・事務員 1 名
- ・維持管理費:日常管理賃金で 1, 000 万円程度、管理資材・事務賃金等 500 円程度総額 1, 500 万円程度。
 - ・地元の企業、団体、住民の寄附で賄っている。
- ・桜の調査費用:病気・土壌調査、苗の育て方(方法)等に係る費用は 500 万円程度。・町が負担。
- ・維持管理等、全て吉野山保勝会で行っている。